

ゴーヘッドズ 速報

Goaheads

第5号 平成27年5月4日

四球と守備の乱れ、走塁ミスで敗戦・・・

初回の攻防で今日が決まった！

	1	2	3	4	5	6	7	8	R
K	3	0	0	0	0	0	0		3
G	0	0	0	0	0	0	0		0



現在2連敗中の我がゴーヘッドズ。本日は、春季区民大会1回戦であるが、昨年同様くじ運悪く2年連続のGWでの開催となった。また、対戦相手に関しても、これまた昨年同様強豪チームとなった。今日の先発は、今期初参戦の光希、そして、マスクを被るのも今期初参戦の祐太と、今期初参戦がバッテリーを組んだ。その立ち上がり、ストライク先攻で、5球をファールで粘られたその後4球をボールとし、四球で出塁を許した。次打者は、4球でゴロに打ち取ったが、これを野手が送球エラーを記録し、無死二・三塁と一挙に場面はピンチと化した。しかし次打者を空三振に斬り、一死としたが、ここから、四球を交え、長短打で3点を失った。その裏の初回攻撃、先頭の智が、初級を鋭く振り抜くと、打球は左中間を真っ二つに割る2ベースで出塁、そして、2番達脇が、走者を三塁に進めた。軟式野球のセオリー、一死三塁と得点シーンに繋がった。ここで打席に入ったのは哲也。3球目を振り抜くと打球は、ゴロゴロに丁度良い感じのショートへの打球、しかし、これに走者が反応せず、更には、送球が一塁手に渡ってから、そろそろと離塁し、ホーム手前でタッチアウトとなり、絶対的な得点シーンを逸してしまった。その後、光希は、2回・3回と無難に切り抜けたが、4回の先頭打者に三内安で出塁を許すと、牽制球が悪送球となり走者は進塁、そして、後続に2つの四球を献上したが、見事、1-2-3のDPを記録してこのピンチを脱した。最終回となる6回にも、先頭に2ベースを打たれ、無死2塁としたが、後続三人を凡打に斬り結果初回の3点止まりとした。しかしながら、打線においては、2回・4回と出塁するものの、打線が繋がらず残塁の山を築く。そして、5回にチャンスが訪れた。この回先頭の光希が、今日初の四球を選択し出塁、しかし、次打者の打球で走者が入れ替わり、打席には細谷、3球目を振り抜き中越えに安打を放ち、一死一・二塁とチャンスを広げた。しかし、後続2打者が共に、見逃三でこの回も0点。最終回にも、二死から哲也が安打で出塁したが、今日2たんしんの祐太が3たんしん目を記録し、ゲームセットになった。

今日を振り返ってみると、安打数にそれ程の差は無い。しかしながら、与四死球と失策が相手チームを上回り、これに安打が絡んだ事に因る失点ゲームを決めた、という状況である。また、初回の走塁も、打球を意識していないと良いスタートは切れないと思うが、ならば、事前の準備はどうだったのか？という事になる。また、5回のチャンスにも、見逃三でチャンスを潰したが、打者から見て、ボールに見えたとしても、ジャッジはアンパイヤが下すもの。従って、絶対に手をささなければならぬ、と感じる。これで春は終わってしまったが、まだまだ他の大会は始まったばかり、今日の敗戦を教訓にチームで考える野球を実践しよう！